マニュアルが英語ですので私の分かる範囲でご説明します。
私もこの機種を使用しています。

充電してからご使用ください。約 6 時間ほど充電すると満タンになると思います。

カーソルや
時刻を上げる

メニュー
&
決定

電源

カーソルや
時刻を下げる

酸素飽和度

脈拍

日常､ちょっと計るだけでしたら指に装着して電源を入れるだけで計られます。
赤いランプが爪に当たるように差し込んで下さい。

※マニキュアは光を発射しますので除光液で拭き取ってからご使用ください。

※ライトが付くところとその反対側は時々、メガネ拭き等で軽く拭いてください。
ライトとライトの受信部が汚れますと数値の精度が落ちる場合があります。

■計測値の記録

１．メニューボタンを押しメニュー画面を出します。

２．カーソルを『Record』にあわせて決定ボタンを押します。
『Record　Start』になります。もう一度決定を押すと

３．文章が出ますのでそこで『Yes』を選択し決定を押します。

４．時刻設定画面が出ますので時刻を合わせて下さい。
時を上下ボタンで合わせたら決定を押すと分にカーソルが移動しますのでまた上下ボタンで分を合わせて決定を押します。

時刻は毎回合わせる必要があります。時刻を合わせないと印刷するとき合っていない時刻が印刷されます。時刻はどうでも良い場合は決定ボタンを連続で押して
次へ進みます。

５.『Record　ON』になります。カーソルを『EXIT』に合わせて決定。
記録が始まります。
記録が始まると液晶画面は何も表示されなくなりますが、指の所の赤いランプが付いていますので記録しています。

６．**記録の止め方**は、電源を押しメニューボタンを押してカーソルを『Record』に合わせて決定を押すと文章が出ますのでそこで『Yes』を選択します。
『Record　Stop』になったら『EXIT』に合わせて決定。これで記録が止まります。

※記録を複数機器に保存することは出来ません。

※室内で長時間計測・記録する場合は電源コードをさして使った方が良いと思います。

■ソフトのインストール

１．まずは付属の CD-ROM をパソコンに入れてソフトをインストールして下さい。
CD-ROM をパソコンに入れて DVD ドライブを開くと SpO2 Assistant Setup-2.3.exe があります。それを起動させてインストールします。
SpO2 Assistant Setup-2.3.exe を起動すると最初に Select Setup Language が出ます。
日本語がありませんので English のままＯＫボタンをクリックします。

２．あとは NEXT ボタンを次々と押してインストールを完了させます。

■ソフトを日本語対応にする

このソフトは日本語に対応していませんでしたので日本語化するファイルを作りました。
http://www.okaimono.cc/yunyu/003/japan-1.lzh をダウンロードして解凍すると
japan.lng ファイルが出来ます。このファイルを
C:¥Program Files¥SpO2 Assistant¥Language のフォルダの中に japan.lng を入れて下さい。
ソフトを立ち上げて Options の Select Language で japan を選ぶと日本語に変わります。
※英語をそのまま訳さずに分かりやすい言葉に代えた部分もあります。

■記録データの印刷

１．ＣＭＳ６０Ｃ本体にＵＳＢ端子の付いたコードを付けます。

２．パソコンのＵＳＢに接続します。

３．ソフト『SpO2 Assistant』を起動します。

４． をクリックします。

４．機器内データの取り込みにチェックを入れて『接続』ボタンをクリックします。

６．取り込むデータにチェックを入れて『データの読込』ボタンをクリックします。
読み込まれたデータはパソコンに保存されます。

7． をクリックするとファイルの保存場所が開きますのでファイルを選んで開くをクリックして下さい。ファイルが開きます。

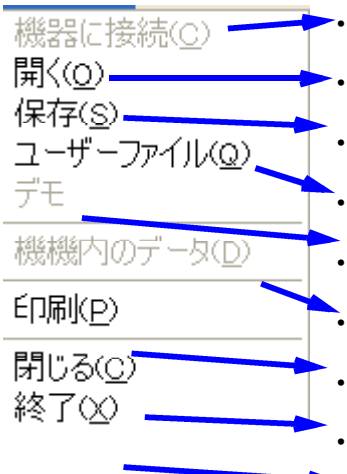
8．データの表示が『レポート（R）』で変わります。
印刷に適しているのは【詳細酸素飽和度測定（O）】です。

9．『オプション（O）』のユーザー情報で名前、伸長、体重等が入力できます。

10. をクリックすると表示されているものが印刷されます。

■メニューの説明

ファイル

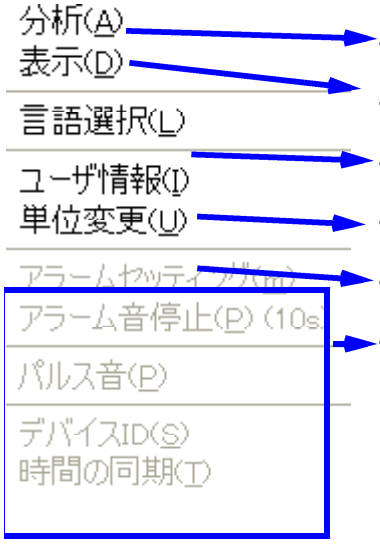


・機器を USB でパソコンに接続したとき
・保存データを開くとき
・いろんな設定を変更したものを保存するとき
・保存データを開くときと同じ
・リアルモニタのデモ
・機器を USB でパソコンに接続したとき
・印刷するとき
・開いたデータを閉じるとき
・ソフトウェアを終了するとき

データ

・取り消し範囲の選択画面が出ます
・リアルモニタの波形の停止
・リアルモニタの波形の再生

オプション



・低下率や継続時間等の設定

・グラフの最低、最高の範囲設定

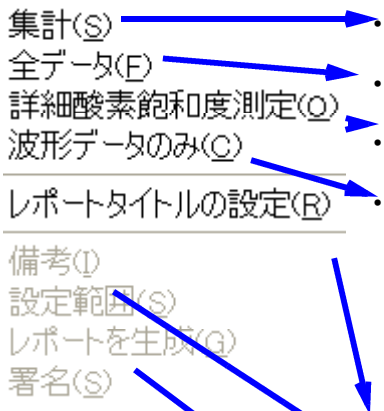
・英語や中国語などに変えられます

・情報で名前、伸長、体重等が入力できます

・伸長体重の単位変更

・リアルモニタでの設定

レポート



・折れ線グラフと平均値と広めの備考欄

・折れ線グラフのみ

・平均値など詳細なデータ表示

・折れ線グラフのみ。
マウスクリックしたところの数値が見えます。
データのいらない部分を範囲指定して切り抜くと詳細酸素飽和度測定でデータに反映されます

・日付などを入れたりしてもいいです

・集計の備考

・詳細酸素飽和度測定のグラフの表示範囲

■パソコンでのリアルモニタ（PM-60A）ではできないようです

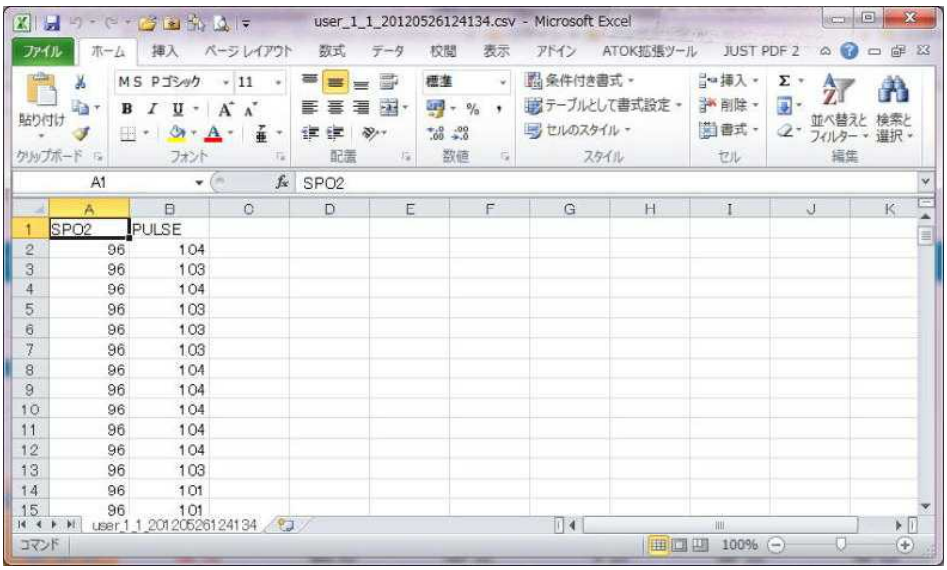
機器本体を USB でパソコンに接続して電源を入れます。
ソフトウェアを起動して をクリックして接続させます。
リアルモニタが始まります。モニタ中にもう一つソフトウェアを起動させ
でファイルを開くと記録中のデータもさかのぼってみることができます。

パソコンでのリアルモニタもデータを保存できます。

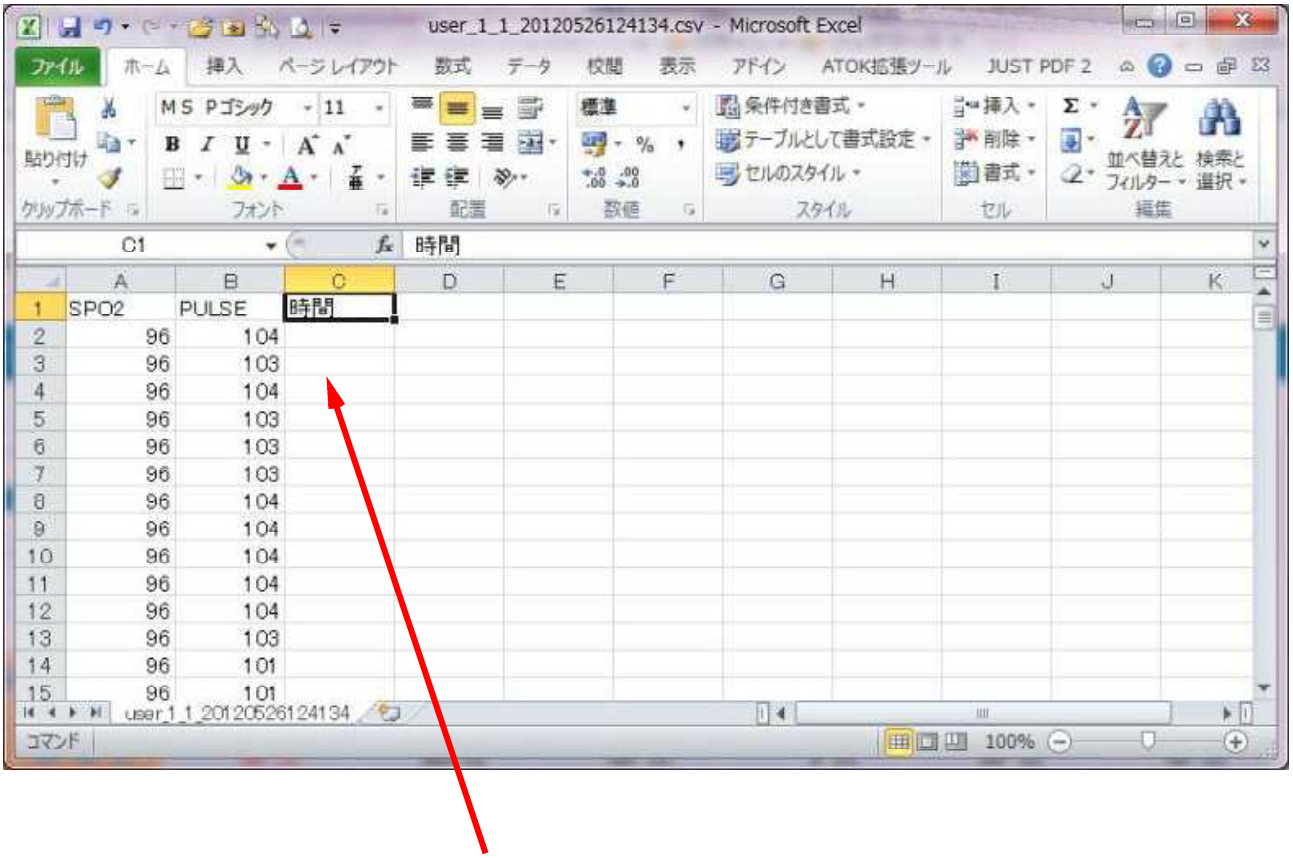
ソフトウェアの終了を選択するとデータを保存するかの選択画面がでますので保存ボタンを押すと保存できます。

※ C:¥Program Files ¥SpO2 Assistant¥Data には CSV ファイルも保存されており、1 秒毎のデータが記録されています。Excel で時間の列を追加してみると詳細に見られます。

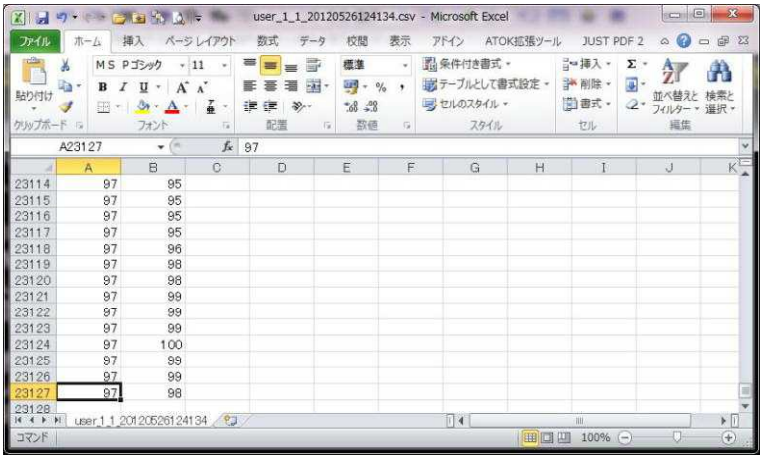
※ CSV ファイルは、酸素と脈拍のデータが 1 秒毎に記録されています。
開いてみる場合は Excel などのソフトでご覧になれば見やすいです。
時間のデータは含まれていませんので Excel で書き込みください。
Excel2010 で説明していますが他のバージョンでも同じだと思います。



CSV ファイルを Excel で開きます。

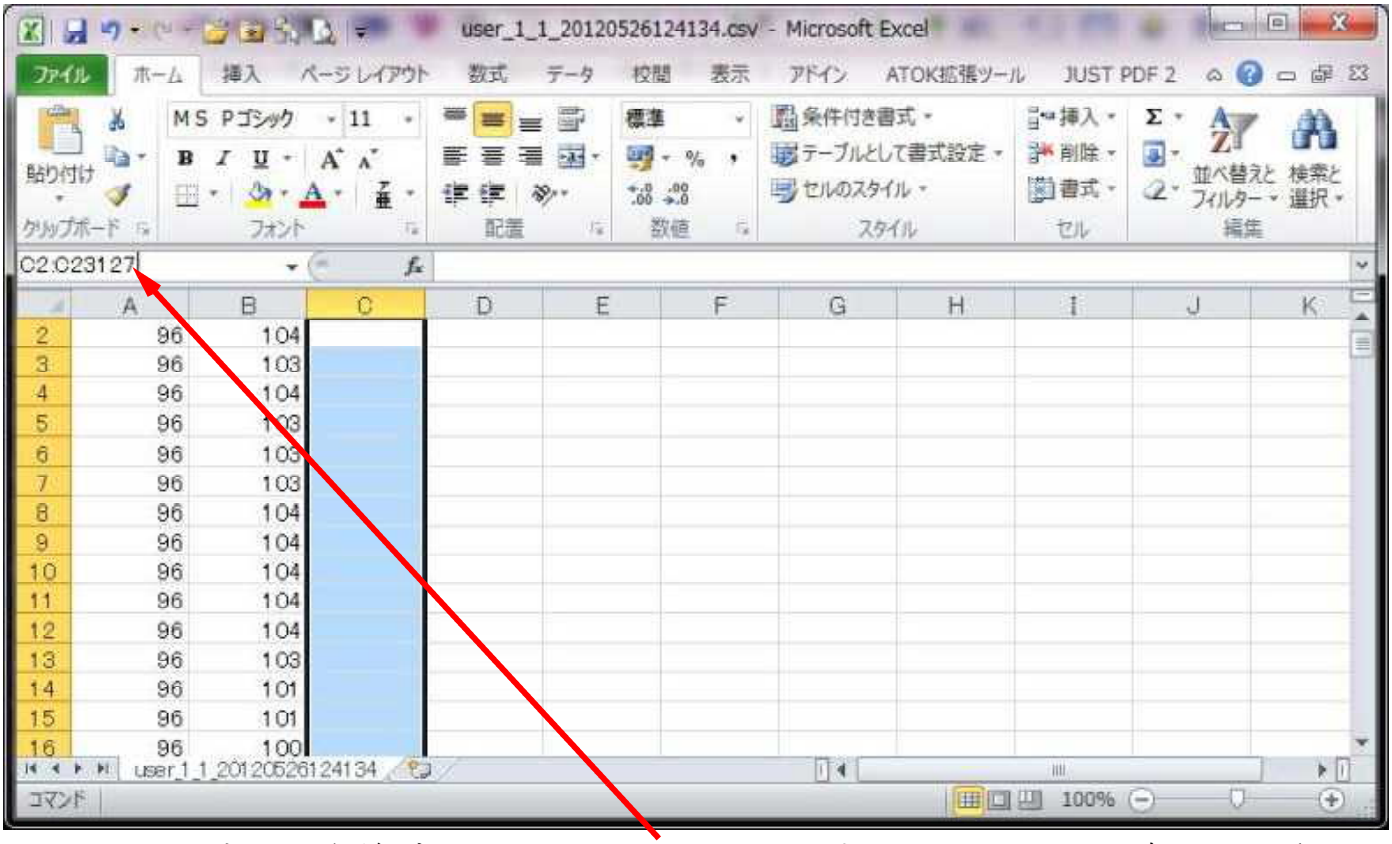


時間と入力



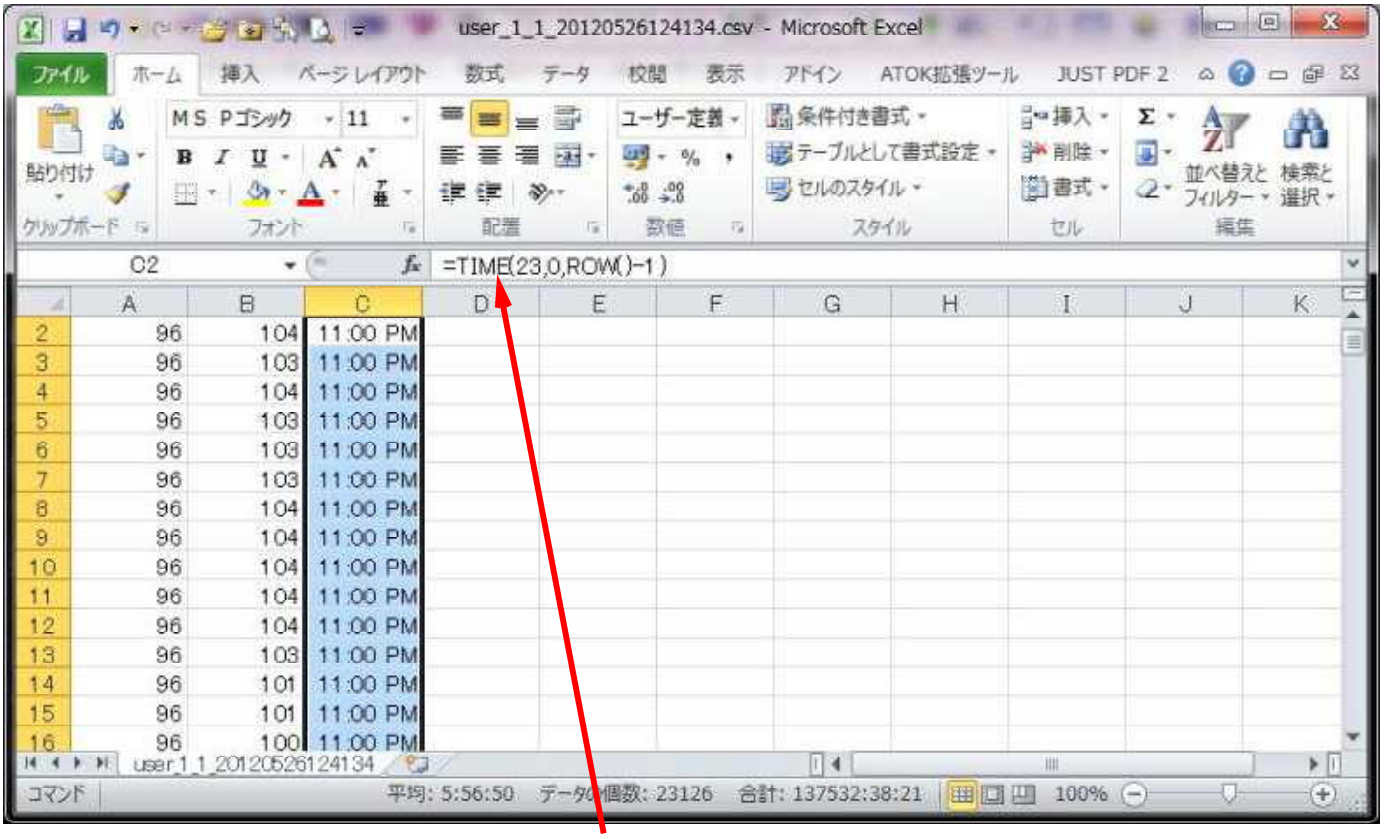
C 列に時間を一気に入力する作業をします。

まずはデータの最終行を調べます。



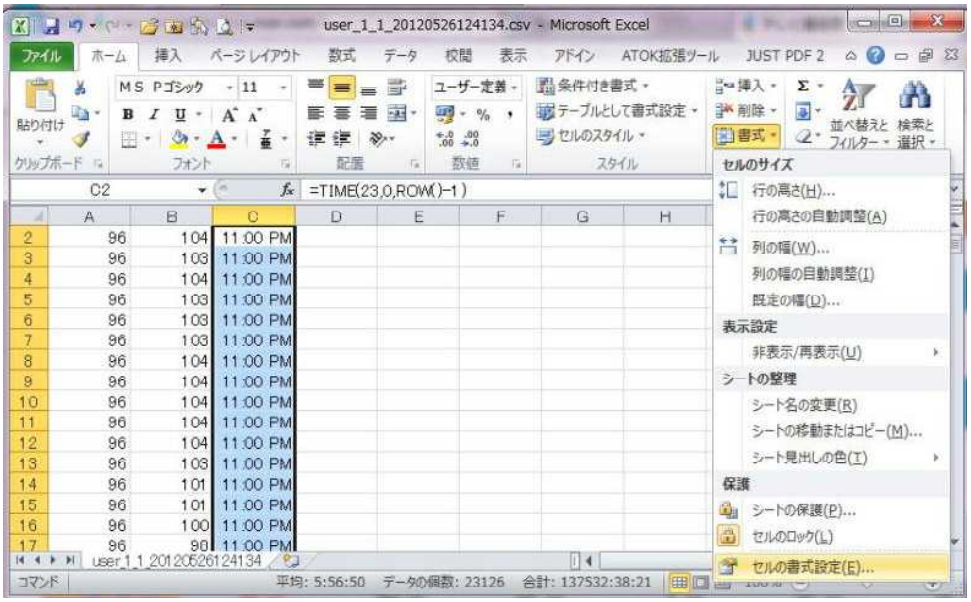
C2 ～ C23127 なので名前ボックスに C2:C23127 と入力してエンターキー押して下さい。
これで範囲指定ができました。
ドラッグしても範囲指定できますし、
C2 をクリックした後、最終行まで移動して C 列の最終行をシフトキーを押したままクリックすると範囲指定できます。

どの方法でも範囲指定はできます。

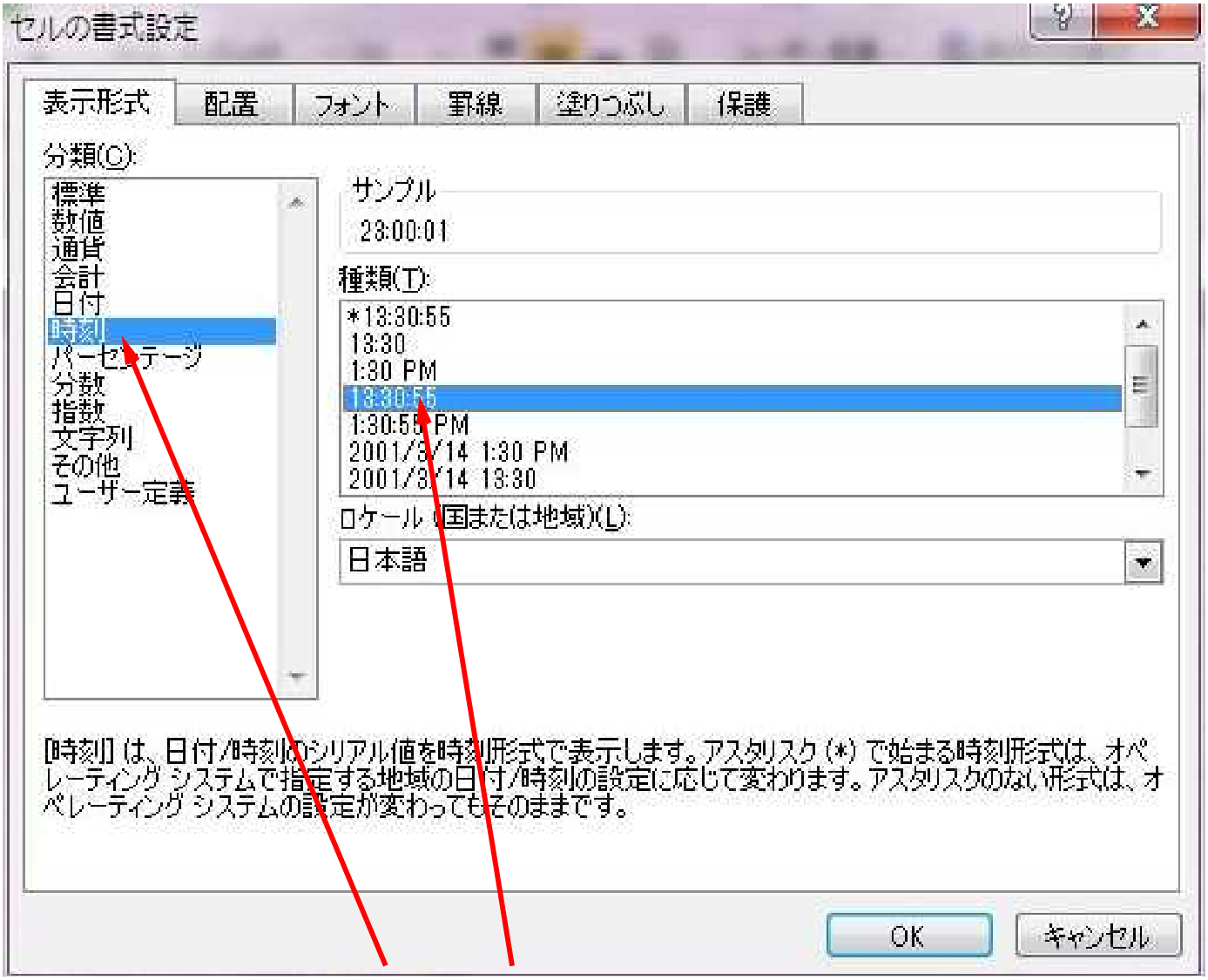


範囲指定したら、数式バーに =TIME(23,0,ROW()-1) と入力して
コントロールボタンを押したままエンターキーを押します。
そうすると範囲指定したところに時間が挿入されました。

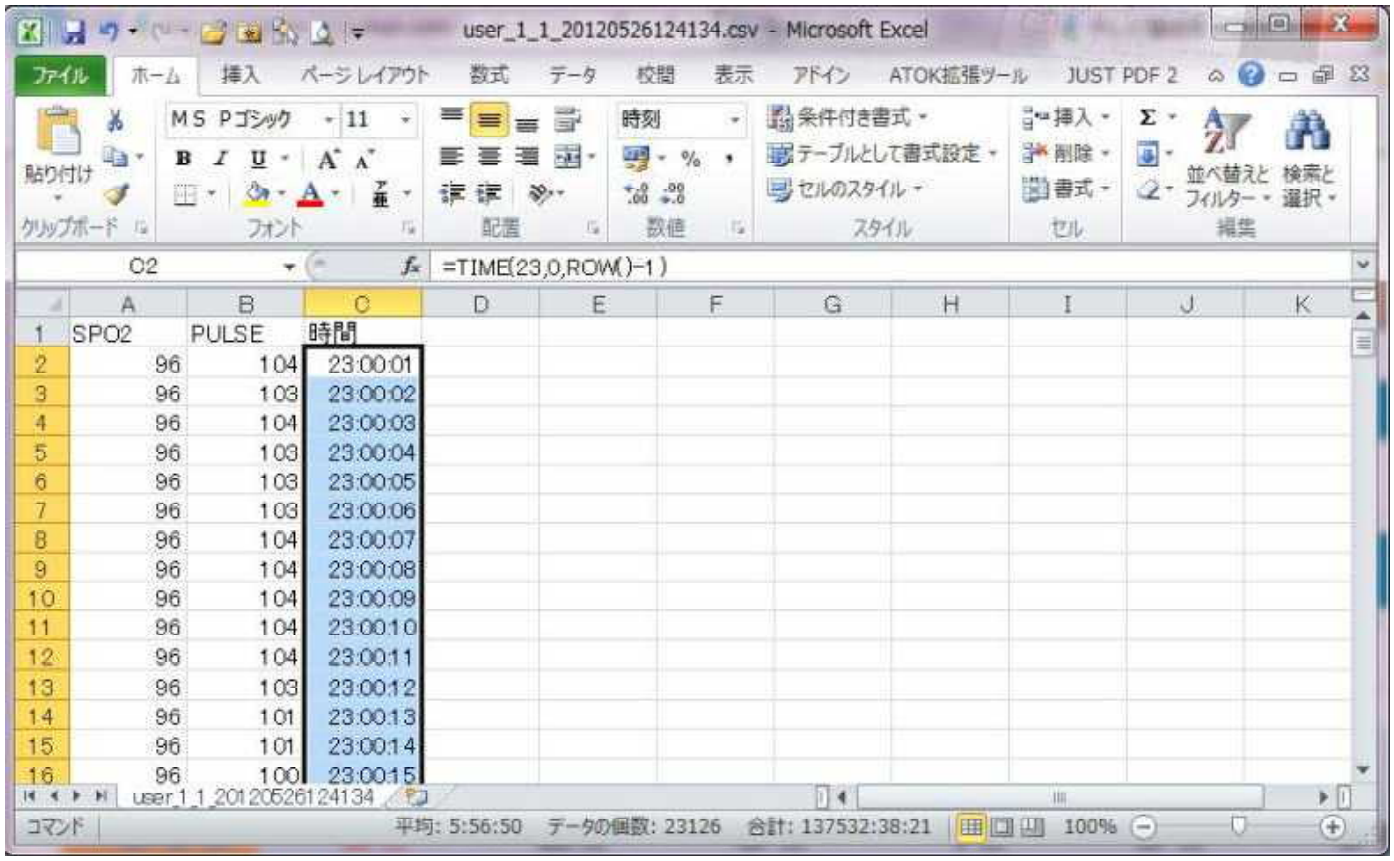
=TIME(23,0,ROW()-1)
は開始時間が 23 時 0 分だった場合の例です。



時間表示に秒数が出てないので、
選択状態でセルの書式設定をクリックしで秒数が出るように変更します。



セルの書式設定が出たら**時刻**と**秒数が表示**されているものを選択して OK ボタンをクリックします。



これで秒数まで表示されました。

当器具は海外の規格で製造されており、その規格は日本の厚生労働省の特定医療機器と同じですが**日本国内では医療機器として利用できません。**

医療を伴わない自己的日々の健康管理やマラソン・競歩・登山・サイクリングなど SpO2 の測定が必要な方への利用限定として販売しております。

日頃のメンテナンス

指挿入部分は時々消毒用アルコールで丁寧にふき取りをお願い致します特に内部上下のふき取りには無理な力を掛けずにソフトで丁寧にふき取りをお願い致します。

毎日使用されている方へ概ね本製品の寿命は約３年です

これは国内で特定医療器具として認定を受けている機器でも同じです

使用方法や手入れの仕方や使用時間によって短くなることもあります

内蔵のリチウムイオン電池は日本国内で交換できません製造元に発送となるため修理に約１か月お時間が必要となり往復の送料もお客様負担となります乾電池式は除く）

酒精綿をお使いの方へ

グルコン酸クロルヘキシジンを含む酒精綿は使用しないで下さい故障の原因となり保証有無に関係なく有償修理となります。

最重要項目

本製品をレントゲン・ＣＴ・ＭＲＩ・超音波粉砕装置など、それらの機器が動作している同じ室内に持ち込まないで下さい、また記録型の場合は既に記録されているデータが消失することもあります。落下・衝撃による機器の故障も保証期間の有無にかかわらず修理不能または高額な修理代金となりますのでご注意ください。

機器の取り扱いは丁寧にお願い致します。